

平成28年度 西ブロックイベントカレンダー

西部地域共通

日付	イベント名	事業内容	主催者	実施場所
7/1～11/30	鳥取市西いなば ようこそスタンプラリー	西部地域のイベント会場や施設に行き、スタンプをゲットすると豪華賞品が当たる！ その他特典もあり。	西部地域各総合支所 地域振興課	西部地域開催イベント及び施設

青谷地域

日付	イベント名	事業内容	主催者	実施場所
7/30	青谷ようこそ夏まつり	商工業の振興とまちの活性化を図るため、ステージイベント、屋台村（あおいち）、イベントコーナー、抽選会等を実施する。	青谷ようこそ夏まつり実行委員会 鳥取市西商工会	J R 青谷駅前特設広場 （青谷上寺地遺跡展示館前広場）
8/11	青谷ようこそ市場（あおいち）	青谷地域に賑わいを創出するため、バザー、各種イベントを実施する。	青谷地域にぎわい創出実行委員会	夏泊漁港周辺
8/20～21	鳥取市池田市スポーツ少年団交流親善軟式野球大会	鳥取市西部地域と大阪府池田市のスポーツ少年団が軟式野球大会を通じて交流する。	青谷町スポ少指導者協議会	青谷町グラウンド
8/27	スタンドアップパドルボード体験	サーフボードに立ち、パドルで漕ぐスタンドアップパドルボードの無料体験。周囲の海、空、陸などの風景を眺めながら会場を散歩し大自然を満喫する。青谷の海で体験できるジオサイトマリンスポーツとして定着を目指す。	カフェデルマー島内武文ほか	井手ヶ浜海岸
9/3	スタンドアップパドルボード体験	サーフボードに立ち、パドルで漕ぐスタンドアップパドルボードの無料体験。周囲の海、空、陸などの風景を眺めながら会場を散歩し大自然を満喫する。青谷の海で体験できるジオサイトマリンスポーツとして定着を目指す。	カフェデルマー島内武文ほか	井手ヶ浜海岸
9/11	青谷ようこそ市場（あおいち）	青谷地域に賑わいを創出するため、バザー、各種イベントを実施する。	青谷地域にぎわい創出実行委員会	夏泊漁港周辺
9/11	あおや鳴り砂ビーチフェスタ2016	ビーチクリーン、ビーチレクリエーション、ビーチコンサート、等を行い、ジオパークエリアの青谷の鳴り砂の浜をアピールする。	あおや鳴り砂ビーチフェスタ実行委員会	青谷海岸
9/18	青谷高校生による卓球教室	青谷高校生卓球部員による卓球教室を実施し、高校と地域の連携を図る。	青谷高校あり方協議会	青谷町農林漁業者トレーニングセンター
10/9	鳴り砂クリーン作戦第2弾	鳴り砂の浜を守るため、一斉清掃を実施する。	青谷町観光協会	青谷海岸
10/2	青谷ようこそ市場（あおいち）	青谷地域に賑わいを創出するために、鳥取環境大学生によるプロデュースしたイベントの他各種バザー、イベントを実施する。	青谷地域にぎわい創出実行委員会	青谷ようこそ館前広場及び青谷駅前周辺
10/15	青谷因州和紙産地強化事業：因州和紙フォーラム	因州和紙の未来に向けた講演やシンポジウムを行い、因州和紙の活用、PRとと産地の活性化に繋げる。	青谷地域にぎわい創出実行委員会	とりぎん文化会館
11/3	こばしまウォーキング	青谷町内の史跡や名所を青谷町ならではの「こばしま（おやつ）を取りながらウォーキングする。	鳥取市体育協会青谷町支部	青谷町内
11/12～11/13	青谷オープン卓球2016	「卓球の町青谷復活イベント」として中学校の各県代表と青谷中・鳥取県内選抜の男女12チームのよる卓球大会を実施する。	青谷オープン卓球大会実行委員会	青谷町農林漁業者トレーニングセンター
11/20	青谷因州和紙産地強化事業：因州和紙フェスタ日置収穫祭	因州和紙のイベントをとおして活用やPRを図る他、和紙の里で収穫した農作物の販売やバザーを行う。	青谷地域にぎわい創出実行委員会 日置地区まちづくり協議会	あおや和紙工房及び日置地区公民館周辺

11/27	青谷ようこそ市場（あおいち）	青谷地域に賑わいを創出するために、鳥取環境大学生によるプロデュースしたイベントの他各種バザー、イベントを実施する。	青谷地域にぎわい創出実行委員会	青谷ようこそ館前広場及び青谷駅前周辺
1/1	第46回青谷町正月マラソン	「楽しくマイペースで走ろう」をキャッチフレーズに目的に合わせて1.5km、3km、5kmのコースに分かれて行う新春の健康マラソン。	体育協会青谷町支部	青谷町農林漁業者トレーニングセンター

鹿野地域

日付	イベント名	事業内容	主催者	実施場所
7/18	第9回城下町しかのぶらり蓮ウォーク	街なみを彩る蓮をのんびりと眺めながら、ぶらりと散策。自由散策の「フリーコース」と街なみ案内付の「ガイドコース」を選択可。	城下町しかの蓮ウォーク実行委員会	鹿野城下町
8/13	いんしゅう鹿野盆踊り	鹿野さんこ「鹿野音頭」などの演目を城下街なみの流し踊りや河川公園での輪踊りで楽しめます。飛び入り参加大歓迎！	いんしゅう盆踊り実行委員会	鹿野町城下町～河川敷
10/22～23	鹿野わったいな祭	城下街なみや河川公園などを会場に開催する秋の一大イベント。地元の農産品や特産品、飲食、ゲームなど多彩なお店が出店。	鹿野わったいな祭実行委員会	河川公園、鹿野城下町地区ほか
11/19～27	鳥の演劇祭9	おなじみの「とりっとダンス」「じゅう劇場」や、高校生による上演などコミュニティで作られた個性的な作品を楽しめる。	鳥の劇場	鳥の劇場他
1/1	鹿野正月マラソン	国民宿舎山紫苑を発着点に約2キロのコースを走る。コース途中の神社で初詣もできる。	鳥取市体育協会鹿野支部	国民宿舎山紫苑周辺
2/5	鹿野ふるさとミュージカル30周年記念公演	鳥取市鹿野町を拠点に、地域住民による手作りのミュージカルを年に1度のペースで公演。	鹿野町民音楽祭実行委員会	鳥取市民会館

気高地域

日付	イベント名	事業内容	主催者	実施場所
8/5～6	貝がら節祭り2016	1日目は大水中花火大会、2日目は貝殻節総踊りなどが行われます。	貝がら節祭り実行委員会	船磯海岸、浜村中心街
10/2	気高ウォーキング大会	海に山に温泉！自然に囲まれた魅力あふれる気高町をのんびり歩いてみる大会。	気高ウォーキング大会実行委員会	気高町陸達大堤池周辺
10/2	陸達大堤うぐい突き	竹で編んだ「うぐい」という漁具を泥の中に突き立て魚を獲る「うぐい突き」は、400年以上続く伝統漁法で、日本ではここ大堤池にしか残っていないと言われています。	陸達大堤うぐい突き保存会	気高町陸達大堤池
10/29～30	ときめきまつり	文芸作品展示やコンサート、芸能発表など多彩な催しで芸術の秋を楽しむ祭りです。	貝がら節の郷づくり協議会	気高町トレーニングセンター
2月頃	しょうがぼかぼかフェスタ2017	『温泉と生姜と健康』をテーマにしたイベントを開催します。この日限定の生姜風呂も登場。また、生姜や健康がテーマの西いなば屋台村のほか、健康イベントやお子様向けのイベントなど、内容盛りだくさんの祭りです。	貝がら節の郷づくり協議会	ゆうゆう健康館けたかほか
3/25～26	気高スカロップ杯中学校バレーボール大会	バレーボールのまち気高で毎年、近隣の強豪中学生チームを招待し、レベルアップ、交流を図るために開催しています。	気高スカロップ杯実行委員会	【男子】青谷町農林漁業者トレーニングセンター 【女子】気高町農業者

浜村温泉館の休館について

1 施設の概要

- 名称 鳥取市浜村温泉館
 所在地 鳥取市気高町浜村 780 番地 2
 設置目的 市民の保養と観光の振興に資するため。
 施設面積 敷地面積 5474.77 m²、延床面積 1995.11 m²
 建物構造 主屋、ホール (昭和 58 年築)、渡り廊下 (昭和 58 年・平成 9 年築)、
 浴室 (平成 16 年築)

2 老朽化の状況

昨年度、技師による施設点検を実施

○建築関連

新耐震建物だが、内外部とも老朽化が目立っており、屋根・外壁などの剥落があるなど危険な状況。

非常階段 (鉄骨製) が老朽化により 2 方向避難が出来ない状況。(建築基準法施行令第 121 条に違反)

○電気設備関連

高圧受電設備の腐食、柱上負荷開閉器箱の発錆、高圧引込ケーブルが老朽化しており施設運営に多大な支障をきたす不具合あり。

○機械設備関連

受水槽が傾いており今後、給水系統が失われる可能性があるほか、温泉関連設備は特殊機器も多く温泉成分による不具合が多数あり。

3 改修費の見込

種別	項目	金額 (万円)
建築工事	屋根改修、防水改修、外壁改修、鉄骨階段改修、屋上手摺改修	3,000
設備工事	高圧受電設備、柱上負荷開閉器箱、受水槽、温泉設備ほか	α (要調査)
合計		3,000 + α

※金額は概算であり、より詳細な調査が必要 (特に設備関連)

4 休館について

上記点検結果を受け、施設改修に係る詳細な調査を実施するため、平成 28 年度からの指定管理者の募集を行わないこととし、現行の指定管理期間が満了する平成 28 年 3 月 31 日をもって休館とする。

5 地域振興会議の対応

平成 28 年 1 月 21 日 「浜村温泉館の早期再開に関する意見について」を市に提出
(意見書要旨)

- ・浜村温泉は地域の宝であり、浜村温泉の活性化のシンボルとして、浜村温泉館はなくてはならない重要な施設であること。
- ・鳥取市新市域振興ビジョンに位置づけている「交流のまちづくり」を実現するためにも、平成29年度中に開通予定の山陰道鳥取西道路の浜村・鹿野温泉IC（仮称）から浜村温泉へ観光客等呼び込む重要な役割を果たす施設であること。
- ・本市の均衡ある発展に資するため、速やかに浜村温泉館の点検、調査に着手し、改修並びに早期再開を図っていただきたい。

平成28年3月10日 市から意見書への回答

(回答：抜粋)

平成28年度に詳細な施設点検と改修を行うとした場合の経費を試算することとしております。今後、調査結果を踏まえ、地域の皆様とともに方針を考えてまいりたいと考えます。

6 「浜村温泉館」存続署名活動について

実施団体 浜村温泉を守る会

期 間 平成28年2月1日～3月31日

署名者数 4,013名

提出日 平成28年4月18日

	町内	市内	市外	県外	計(名)
温泉館	564	1,079	201	283	2,127
公民館	873				873
浜村温泉商店会	718	189	30	5	942
個人		71			71
計(人)	2,155	1,339	231	288	4,013

【現状写真】



【経緯】

- 山陰道「鳥取西道路(吉岡温泉IC(仮称))～青谷IC」の供用が平成29年度中に予定されている中、鳥取市西地域の経済団体・市民等から高速道路ネットワークを活用した地域振興のため「道の駅」整備の要望が提出される。(H25年11月)
- 鳥取市では、平成26年度に鳥取市「気高道の駅(仮称)」整備基本構想・基本計画(案)を策定し、整備を推進する場合の基本方針案をとりまとめた。
- 平成27年4月15日から平成27年5月15日にかけて市民政策コメントを募集、また同時期に鳥取市西地域3か所で市民説明会を開催するなど、基本構想・基本計画案に対する市民意見の集約を行った。

【整備の方向性】…地方創生拠点としての活用

- 鳥取西道路の開通を契機として「地域の課題を解決するきっかけとなり、地域活性化につながる」道の駅。
- 「山陰道利用者の安全確保のための休憩施設」になるだけでなく「鳥取市の西の玄関口」としてのおもてなし施設。
- 鳥取市西地域(気高・鹿野・青谷)における新たな中心的拠点形成。

<p>地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型</p> <p>地域の観光特産品窓口機能 観光案内の観光案内所、 観光手帳窓口 等</p> <p>インバウンド観光の促進 外国人案内所、多言語、 観光公衆電話 LAM、 海外決済 ATM 等</p> <p>地方自治体の促進 地方界定のワンストップ窓口、 ふるさと納税の官報監視 等</p>	<p>「道の駅」が 活力を呼び、 雇用を創出、 地域の活性化へ</p> 	<p>地域の元気を創る 地域センター型</p> <p>地域の産業振興 観光特産品のブランド化、 地域活性化 等</p> <p>地域福祉の向上 お祭り、敬老会等、 高齢者福祉 等</p> <p>高度な防災機能 防災拠点の活用と防災拠点 広域連携 等</p>
--	---	--

●道の駅のコンセプト

「人とまちを元気にする
鳥取・因幡らしさが息づく 西因幡 道の駅」

地域全体で道の駅を盛り上げるとともに、道の駅から生み出される人・モノ・お金の流れが、地域や市全体に波及する、「人とまちを元気にする道の駅」とします。

●道の駅に求める姿

誰もが立ち寄りたくなる
「おもしろい」道の駅

地域の人が使いやすく、やりたいことができる

「地域のための道の駅」

地域を周遊するきっかけの
「まちの顔・案内人」

まちがうるおい、元気になる！
「地域に還元する道の駅」

浜村鹿野温泉IC(仮称)

南東部が最適地

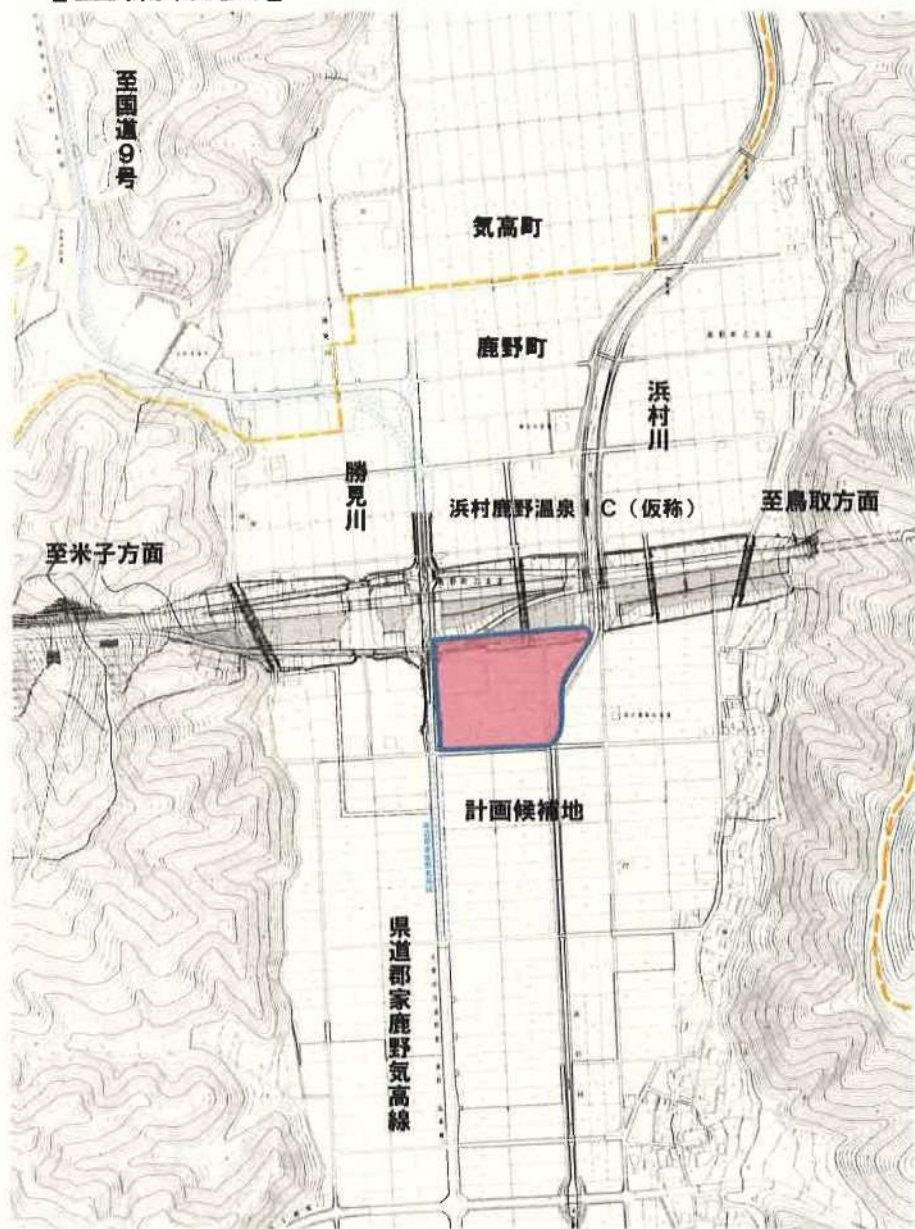
- フルIC付近への立地によるアクセス性
- 近隣道の駅との距離感
- 鳥取道～山陰道利用者の休憩ポイントとしての優位性
- 温泉地との連携が可能な位置
- 上下水道、農業基盤の整備状況
- 鷲峰山の景観、将来的な敷地拡張可能性…等



清流茶屋かわはら・神話の里白うさぎと連携しつつ、
気高「道の駅」独自の特色づくりを目指す！



【整備概要】



	施設	規模 (㎡)	備考
基盤施設	駐車場(小型車)	3,400	112台
	〃 (大型車)	2,800	20台
	足湯	50	
	共用部(バックヤード等)	5,600	
	小計	11,850	
駅舎施設	トイレ	150	男小11、大5、女12、多目的2
	休憩室	140	情報コーナー、案内人を含む
	農畜産物売り場	100	
	特産品売り場	100	
	海産物売り場	50	
	レストラン	350	
	農水産物加工施設	100	
	ファストフード	20	
	地域交流スペース	30	
	管理事務所	50	
	コンビニエンスストア	160	
	共用部(附帯施設、通路等)	250	倉庫、温泉シャワーを含む
	小計	1,500	
	合計	13,350	≒14,000㎡

かわはら 18,059㎡
 白兔 12,684㎡
 岩美 8,600㎡

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
基本設計						
「道の駅」基本設計	基本設計	詳細設計				
	施設内容、配置、ゾーニング等決定、関係機関協議					
用地購入						
用地交渉・購入		用地購入				
不動産鑑定評価						
測量・調査						
用地調査、測量(敷地)	用地調査	用地測量				
ボーリング調査(地質調査)						
文化財調査	試掘					
各種許認可						
農振除外・農地転用	農振除外	農地転用				
土木設計						
造成実施設計		造成設計				
建築設計						
建築基本設計		基本設計				
建築実施設計、工事監理			実施設計		工事監理	
各種工事						
造成工事(開発)			造成工事			
建築(建物)工事					建築工事	
造園・舗装等工事						外構等
下水道工事	測量設計		接続工事			
上水道工事		測量設計	配水管工事			

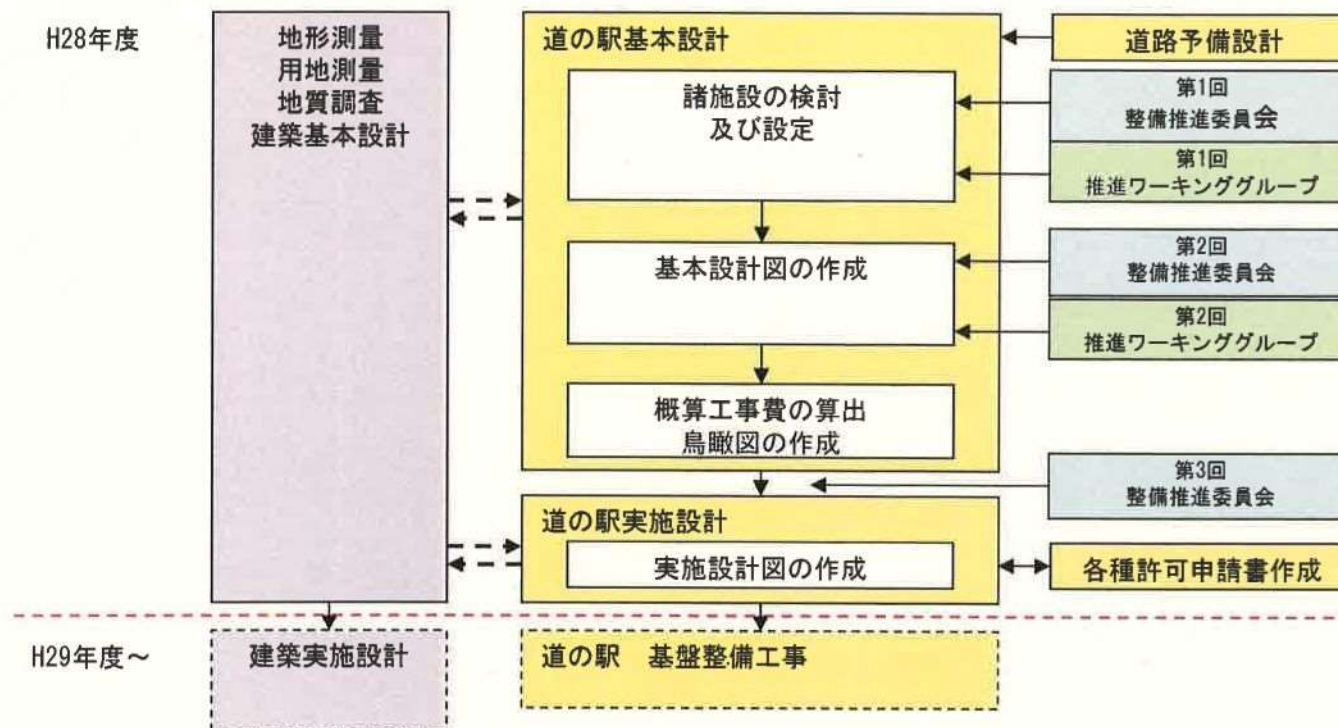
平成28年度 事業費

(千円)

事業費	218,629
地方債	141,400
その地	56,985
一般財源	20,244

※職員手当・事務費含む

【H28年度主要事業フロー(想定)】



【整備推進委員会スケジュールと検討内容(案)】

委員会	主な検討内容
第1回 平成28年 6月29日	道の駅の基本計画の確認 ・事業概要、今後のスケジュール等 ・今後の設計にかかる条件確認及び基本計画の具体化
第2回 平成28年 8月下旬予定	基本設計案の検討 ・住民の意向を踏まえた基本設計案案
第3回 平成28年 10月下旬予定	最終基本設計案の確認 ・最終基本設計図及び鳥瞰図 ・概算工事費 ・道の駅の管理運営

【推進ワーキンググループのスケジュールと検討内容(案)】

委員会	主な検討内容
第1回 平成28年 7月下旬予定 (3地域開催)	道の駅の基本計画の確認と魅力向上に向けた施策の検討 ・基本計画をベースとした具体化 道の駅の魅力向上に向けた施策 道の駅と地域との連携する施策 導入施設及び機能
第2回 平成28年 9月下旬予定 (全体開催)	基本設計案の検討と道の駅の運営 ・基本設計案案 ・道の駅の管理運営

青谷高等学校の現状について

1 青谷高等学校のあり方を考える協議会

当協議会は、「青谷高等学校は、青谷地域はもとより、鳥取市西部地域の活性化の観点から必要不可欠」との認識から、教育の充実とともに、地域に根差した魅力的で特色のある高校を目指し、学校OB、関係機関、地域住民等が連携して、あり方を考え行動することを目的に、平成26年12月20日に設立し、調査研究、情報発信を行うとともに、青谷高等学校の地域連携活動の支援を行っています。

2 協議会のこれまでの活動について

- | | |
|---------------------|--|
| ①調査研究 | 先進地視察 |
| ②情報発信 | 協議会の取り組み状況を支所だよりにシリーズ化して掲載 |
| ③地域連携 | 地域イベントへの参画（全国鳴り砂サミット、青谷ようこそまつり、海岸清掃、JR青谷駅清掃、JR浜村駅前清掃等） |
| ④青谷高校卓球部による市民への卓球教室 | ・・・参加者120名 |

3 青谷高等学校の現状について

全国的な人口減少・少子化の進展に伴って、鳥取県においても、児童・生徒数が年々減少し、青谷高等学校も定員割れが続いていますが、授業の中に地域の歴史・文化を学ぶ「青谷学」を取り入れたり、地域イベントの参画、清掃活動ボランティア等、地域との連携に積極的に取り組んでいるところです。

このような中、昨年、「青谷高等学校は廃止される」といった噂を耳にしました。これは、全く根拠のない噂であり、在校生や今後入学を考えている生徒や保護者、地域の皆さんに疑心暗鬼を与えることにもなりかねず、当協議会として明確に否定します。

4 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針について

県教育委員会では、今後の中学校卒業生数の減少に対応した、平成31年度から平成37年度までの高等学校教育における基本的な考えや施策展開の方向を定めた、「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針」を平成28年3月に策定しました。

【鳥取県の中学校卒業生数の推移】

・平成31年度 5,301人 ⇒ 平成37年度 4,934人 ▲367人（内東部 ▲230人）

【基本方針骨子】

- ①時代や社会の変化に柔軟に対応できる高等学校教育の推進
- ②今後の生徒数減少期に対応した魅力と活力にあふれる高等学校づくり

○生徒数の減少への対応

生徒数の減少に対しては、学校の統廃合ではなく原則として学級減で対応する。

★基本方針では、「高校を廃校とする」という考えは打ち出されていません。

5 青谷高等学校について

昭和23年4月1日に旧青谷町に開校し、平成11年4月に普通科から総合学科に改編しました。現在、1学年3クラス（定員114名）の学校です。

【総合学科とは】

普通教科と専門教科から自分の興味、進路に応じて選択して学習します

1年次生では、全員が共通科目を学びます。

2年次生からは、興味・関心や進路を踏まえて系列（コース）を選択します。

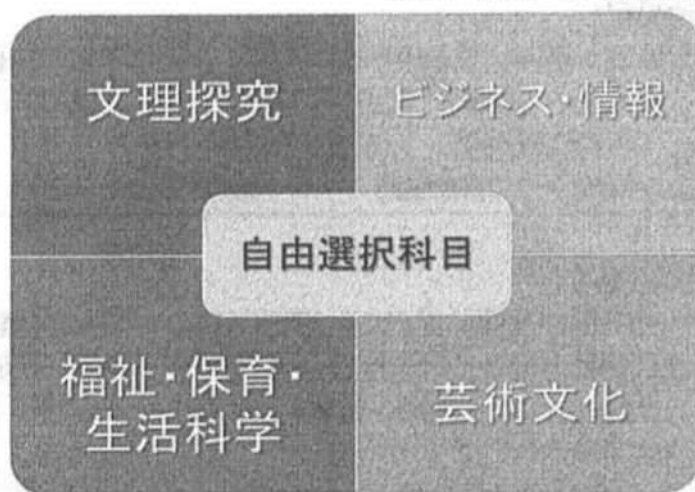
【青谷高校の4系列（コース）】

●普通教科中心のカリキュラム

●大学・短大・看護専門学校をめざす

●ビジネスに必要な経済・経営に関する技能や知識を習得

●大学・短大・専門学校の推薦入試や就職試験に対応



●保育・食物・被服など家庭科目や福祉科目を中心に学習

●大学・短大・専門学校などのAO入試や推薦入試に対応

●美術を中心に音楽・工芸・書道など芸術教科を学習

●大学・短大・専門学校などのAO入試や推薦入試に対応

【進路】

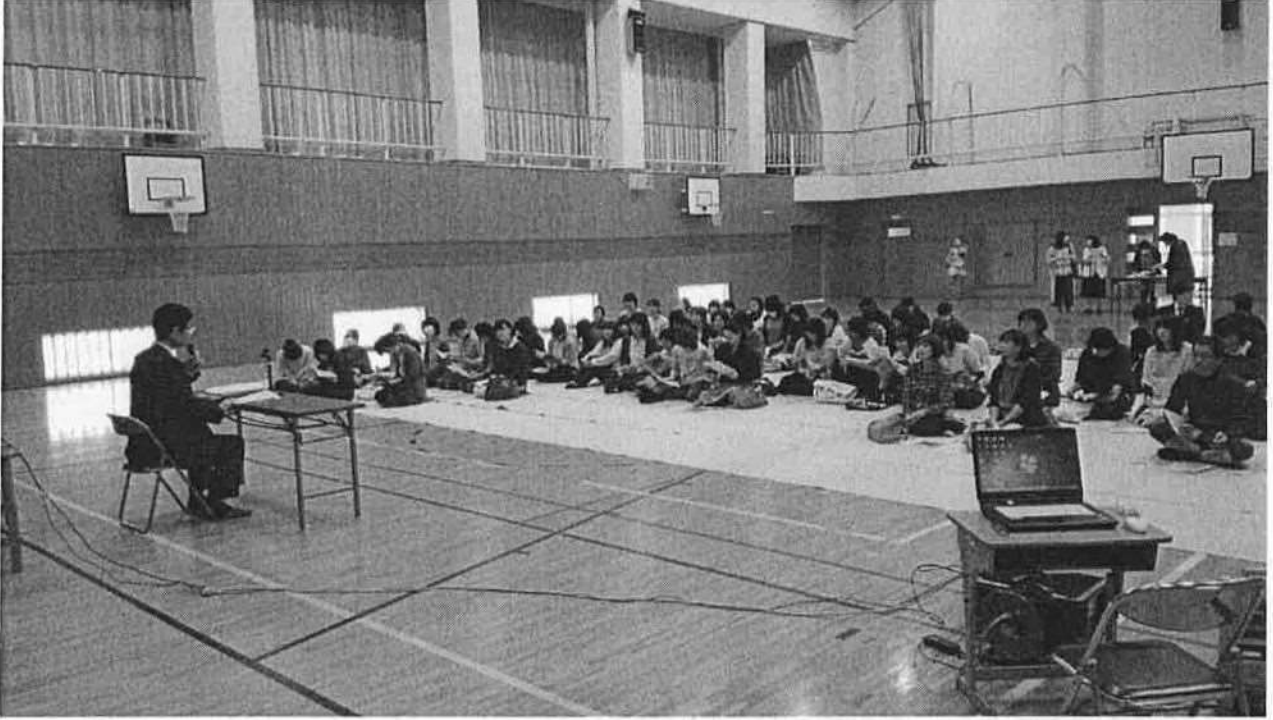
(各年度 4月1日現在)

内 訳		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
進 学	大 学	12	11	7	8	2
	短 大	23	17	14	14	7
	専修・専門学校	39	59	26	27	29
	未 定	1	2	1	1	1
	計	75	89	48	50	39
就 職	県 内	44	43	30	45	39
	県 外	2	2	3	0	4
	未 定	3	0	3	1	0
	計	49	45	36	46	43
進学・就職未定		4	0	5	10	3
合 計		128	134	89	106	85

青谷高等学校のあり方を考える協議会による西部地域中学校等への説明

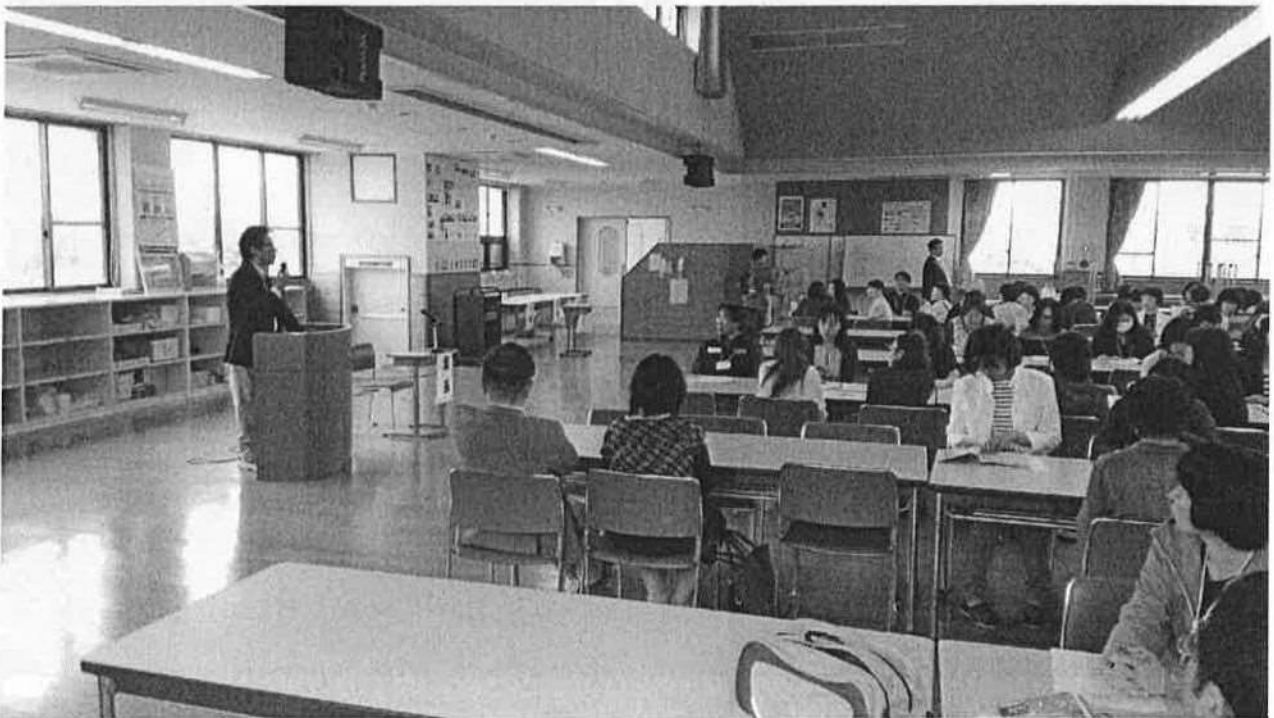
平成28年4月22日(金) 青谷小学校 PTA 総会

参加者 山本支所長、高橋委員、武田副支所長



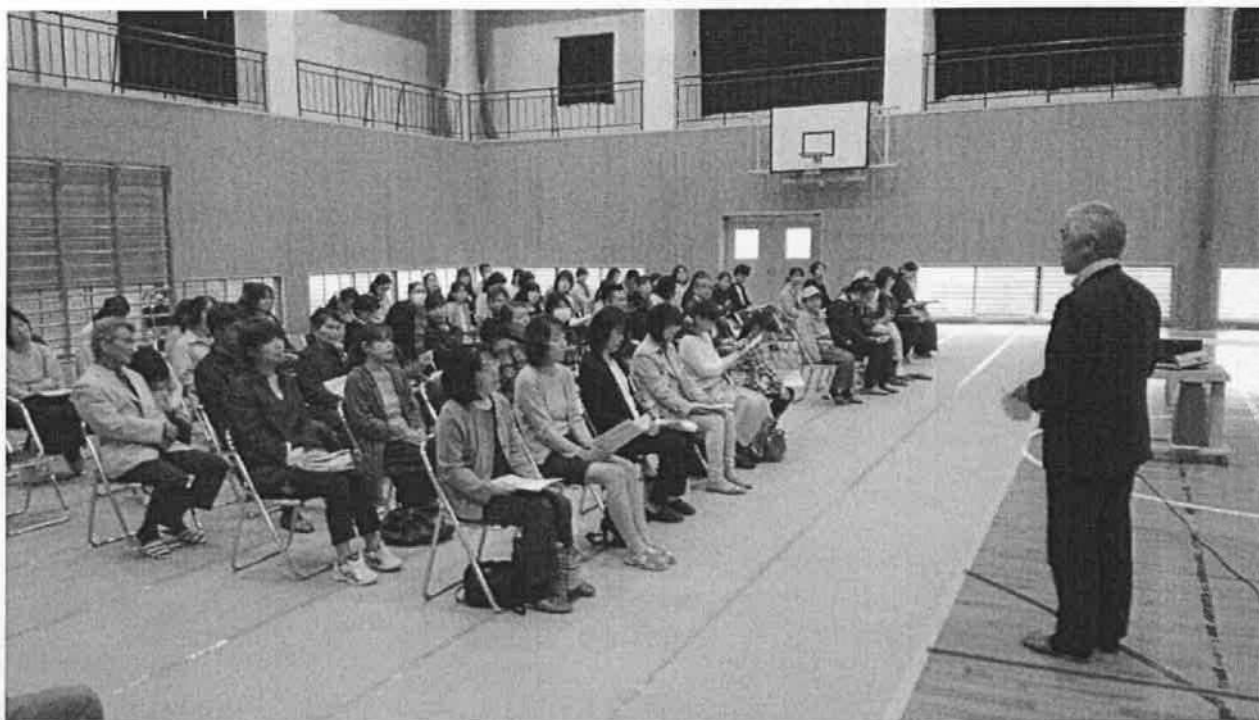
平成28年4月23日(土) 気高中学校 PTA 総会

参加者 鈴木支所長、安岡委員、武田副支所長



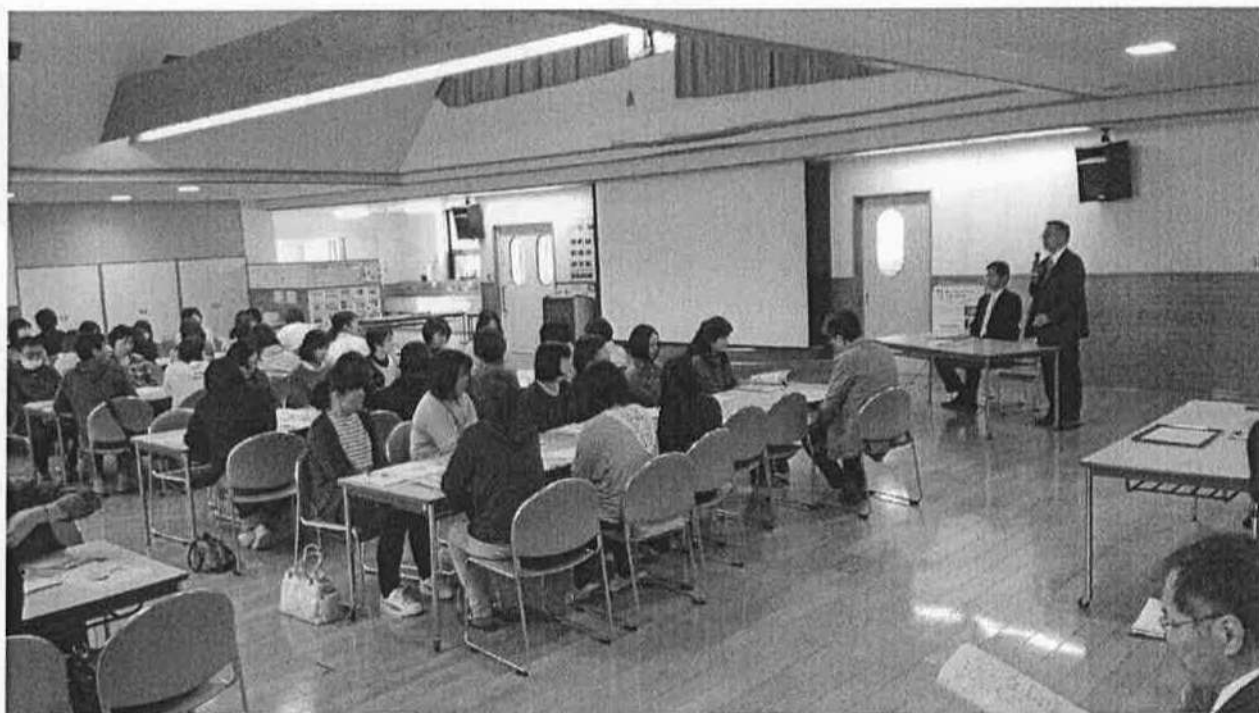
平成28年4月23日(土) 鹿野中学校 PTA 総会

参加者 徳岡支所長、奥谷委員、安岡委員、武田副支所長

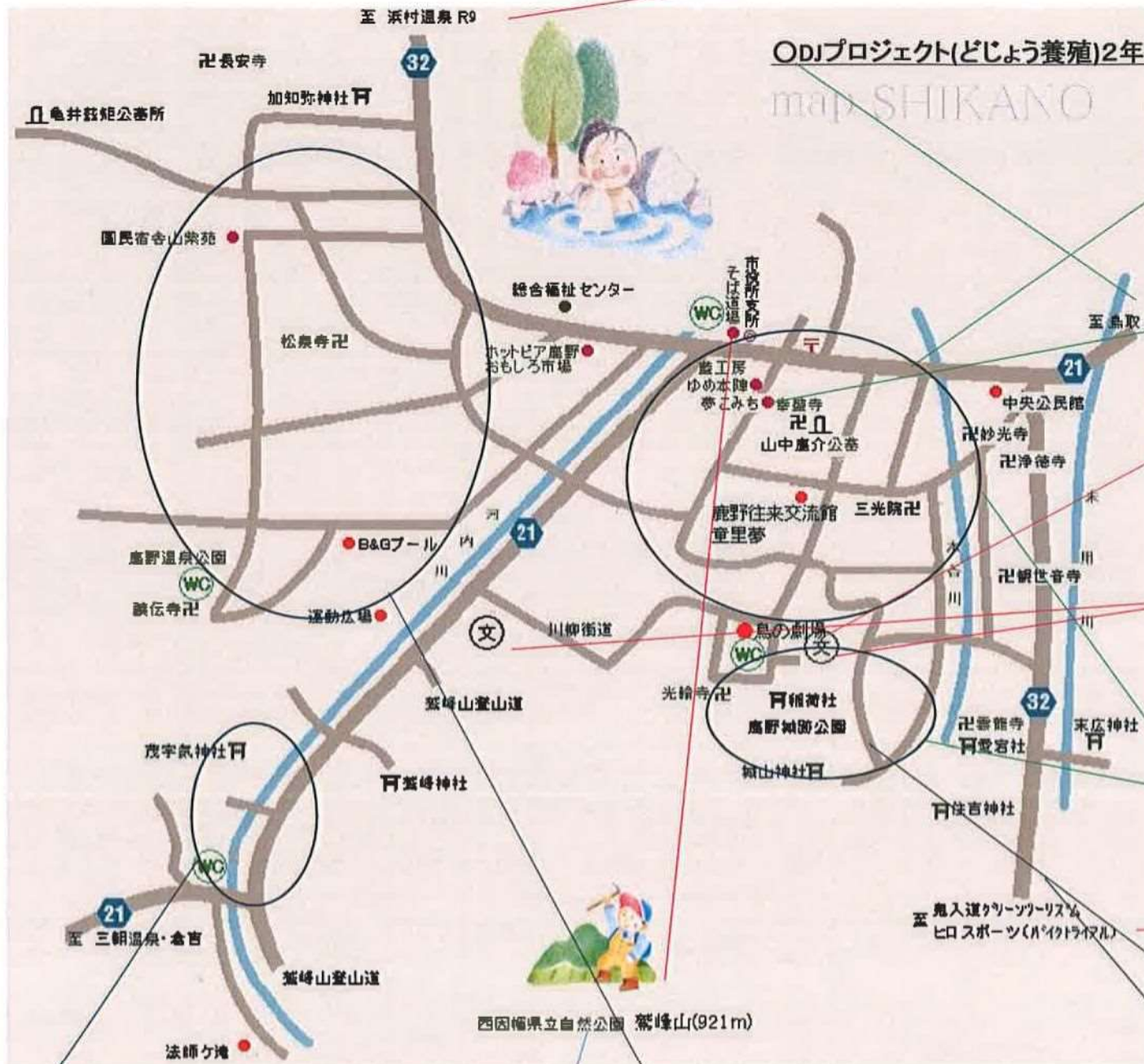


平成28年4月29日(金) 青谷中学校 PTA 総会

参加者 山本支所長、倉恒委員、武田副支所長



鹿野地域 2016



○気高道の駅整備

- ・鳥取西地域の小さな拠点。
- ・多様な機能を持った複合施設。
- ・山陰道の全線開通に併せてIC南側に整備
- ・具体化のための事業がスタート
- ・求められる地元産物販売体制の充実

○ODJプロジェクト(どじょう養殖)2年次目

map SHIKANO

○街並み環境整備

- ・様々な取り組みが移住定住を誘導
- ・空き家を活用した店舗(ゆめ本陣・夢こみち等)
- ・協働による歴史的景観の演出
- ※鹿野まつりが似合う街並みづくり
- ・江戸時代、200年の中断を経て住民が再興

○夢こみち...すげ笠御膳好評。仕出し弁当開発

- 鹿野ふるさとミュージカル
- ・H28は30周年。H29.2.5鳥取市民会館公演

○鳥の劇場

- ・拠点施設(旧鹿野小学校)の耐震化完成
- 7/30 地域へお披露目予定
- ・日中韓(BESETO)演劇祭開催
- ・期間中は、空き家を活用した週末だけの街の店が盛況

○鹿野らしい小中一貫校づくりへ

- ・しかの学校応援団発足(H28.4)
- ・一貫校づくり推進組織設置
- ・「表鷲科」など地域新教科も検討
- ・小中を結ぶ「川柳街道」の役割アップ
- ※ジュニア川柳大賞は、14年目に。

○町普請の会、城山まもりたい、あかり本願衆等々

- ・住民による地域づくり活動が活発
- ・広域的地域運営組織は3団体プラスNPO
- ・城山は鹿野のシンボル。城山まもりたいなど積極的に活動

○全日本バイクトライアル・中国大会 6/12

○鹿野祭りは2年に一度の大祭

- ・今年は亀井公の津和野お国替えから400年

○歴史的友好交流・津和野町(H28は訪問年)

- ・日本遺産認定を活かした津和野町の取組に学ぶ
- ・新資料「津和野百景」展示開始(日本遺産センター)
- ※津和野百景は外国人の街歩きが「伴」として活用されている

○工業団地整備推進

- ・整備推進に関する意見書提出(H27地域振興会議)
- ・西地域における候補地検討

○公共施設等の利活用推進

- ・鹿野町公共施設等利活用検討会を設置
- ・市リノベーションスクール開催予定
- (※田中邸・商工会館・河内改善センター等)

○小鷲河地区公民館新築事業スタート

○河内果樹の里山プロジェクト

- ・農、交流による地域の魅力創出
- ・農地の荒廃を解決するヒント発見
- ・大阪国際大学と連携協定締結(H28)
- ※道の駅への出荷や農家民泊などの取り組みが新たな経済循環を創出

○西いなばフットパス大会(河内会場)

- ・11月5、6日開催を推進

○市街地住民との農業体験交流

- ・小鷲河地区公民館と湖山西地区住民(4年目)
- ・生姜植えつけなど

○鷲峰山登山道・法師が滝遊歩道等の整備

- ・老朽標識の点検、手入れ
- ・取組継続のための体制づくり検討

○温泉、そば、生姜、鹿野地鶏...

- ・鹿野温泉は昭和に開発された国民保養温泉
- ・医療や保養、農業利用等を推進
- ・温泉付き住宅地の開発等
- ・農業振興プラン推進作物は、そば・生姜、ジビエ
- ・鹿野地鶏は鳥取県が生んだピヨ
- ※働ふるさと鹿野、食鳥処理施設、そば道場など

○西地域の連携強化

- ・西地域を結ぶイベントスタンプラリーの創設
- ・西いなばジオサイクリング大会等

鹿野地域できごとカレンダー 7/1現在

4月	9日	桜まつり花火大会
	9、10日	鹿野祭り・(本祭)
	24日	春のえもん市
	28日	しかの学校応援団設立
5月	15日	鷲峰山登山
	27日	いんしゅう鹿野まちづくり協議会と大阪国際大学との連携協力協定調印式
	29日	西いなばジオサイクリング大会
6月	1日	総合支所内に西商工会鹿野事務所移転開設
	5日	第6回鹿野往来マラソン(鹿野→吉岡)
	12日	全日本トライアル選手権 中国大会 小中一貫校推進委員会設置
7月	18日	城下町ぶらり蓮ウォーク ※鹿野町公共施設等利活用検討会設置 ※道の駅整備推進ワーキングチーム設置
8月	13日	いんしゅう鹿野盆踊り
9月	10日	鳥取市総合防災訓練(鹿野会場)
	16日～	BeSeTo演劇祭(鳥の劇場会場)
10月	22、23日	鹿野わったいな祭 女性消防大会
11月	5、6日	西いなばフットパス大会
2月	5日	鹿野ふるさとミュージカル30周年記念公演

◆鹿野地域のデータ

面積 52.7Km² (鳥取市 765.65Km²)
 人口 3,845人 (鳥取市 191,310人)h28.4
 4,385人 (鳥取市 200,532人)h16.12
 集落数 46集落...H28湯川自治会加盟
 内小規模高齢化集落(見守り実施)1集落
 内買い物支援(移動販売)対象集落約15集落